



Title	伝染病予防について
Author(s)	上嶋, 黥
Citation	makoto. 1973, 3, p. 2-2
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/86269">https://doi.org/10.18910/86269</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 伝染病予防について

大阪府衛生部環境保健課長

## 上嶋 勲

ているのです。

### 3. 感受性者対策

侵入を受ける人間の側の対策を意味します。

はしがは一度かかると一生のうちに二度とかからないといわれます。このように二度とかからずなる抵抗力を持つことを

いるのもこの感染源発見を早める対策の一つであるのです。

しかし、病氣にかかってから免疫性を持つようでは余りにもらなくなる抵抗性を持つことを

免疫性を獲得したといいます。

しかし、病氣にかかってから免疫性を持たなければなりません。このように二度とかからずなる抵抗力を持つことを

免疫性を殺したり、弱めたりしたものを病氣にかかる前に人体に接種して抵抗性を高める方法が

毒性を殺したり、弱めたりした種の伝染病のよう人工的に病

毒を殺したり、弱めたりした

ものを作ります。従って、ある

種の伝染病のよう人工的に病

毒を殺したり、弱めたりした

ものを作ります。これが、予防接種

で、天然痘に対する種痘や、シ

フテリア、百日咳、破傷風など

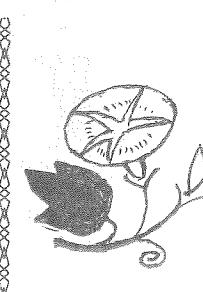
に対する三混ワクチンの予防接

種がそれです。

なかには、ポリオ（急性灰白

髄炎）に対する生ワクチンのよ

うに、服用するだけで免疫性の獲得できるものもあります。



ともあります。

このように、伝染病に対しても個人としても集団としても伝染

病にかかりにくい性質をつくりあげることは必要なことで、こ

れには、予防接種の普及はもとより、衛生教育による衛生思想の普及向上によってこの目的が達成されるのです。

私たち人間の病氣には、いろいろの種類がありますが、とりわけ、伝染病は、病原体が人体に侵入し発病するといった点で他の病気とはちがつた特徴を持つています。

しかも、多くの伝染病は、病原体がそれなり、からだに侵入する経路も多様で、病気の出方も早いものやおそいものの、場合によつては健康保菌者のように全く出ないものもありますので、予防や治療にあたつては個々の伝染病に適した方法が講じられなくてはならないのです。

しかし、全体を通して、伝染病を予防する方法としては、次の三つの原則、つまり、

1. 感染源対策

2. 感染経路対策

3. 感受性者対策

があげられます。

1. 感染源対策

感染源対策とは、伝染病の病原体のいるところを抑え、病原体をやつづけることです。

2. 感染経路対策

感染経路対策とは、病原体をねらっています。

3. 感受性者対策

感受性者対策とは、病原体の意味します。

はしがは一度かかると一生のうちに二度とかからないといわれます。このように二度とかからずなる抵抗力を持つことを

免疫性を獲得したといいます。

しかし、病氣にかかってから免疫性を持つようでは余りにもらくなる抵抗性を持つことを

免疫性を殺したり、弱めたりしたものを作ります。従って、ある

種の伝染病のよう人工的に病

毒を殺したり、弱めたりした

ものを作ります。これが、予防接種

で、天然痘に対する種痘や、シ

フテリア、百日咳、破傷風など

に対する三混ワクチンの予防接種がそれです。

なかには、ポリオ（急性灰白髄炎）に対する生ワクチンのよう

うに、服用するだけで免疫性の獲得できるものもあります。

そのほか、生活環境の改善、睡眠をとることおよび過労の防

止や適切なる運動などの点に注意して衛生的な生活をすること

によって、もしも、病原体が侵入しても発病を軽症に止めるこ

感染源対策とは、伝染病の病原体のいるところを抑え、病原

体をやつづけることです。

感染源対策とは、伝染病の病

原体のいるところを抑え、病原

体をやつづけることです。

感染源対策とは、伝染病の病

原体のいるところを抑え、病原